

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第27号 平成21年 9月 6日

ほぼ全員安打で、打ち勝った。佐藤はあわやサイクルヒット

2打者連続HRは、創部以来チーム初！



	1	2	3	4	5	6	7	R
G	2	1	2	3	3	0		11
D	0	0	1	4	0	0		5

9 / 5 (土) 本日2試合目のゲームを、2連勝中のダンサーズと第3戦目のオープン戦を行った。睡眠不足とヨッパでメンバーを構成したが、何とメンバー全員が、あぶさんに変身したかのような、恐らく、チーム打率初の0.400を記録し、今日のゲームを打ち勝った。中盤に相手打者も連打を記録し、4点をあげたが、効率的に点を重ね、本日は、多少の失点も、気にもならない内容であった。その中の圧巻は、初回、哲也が4球目を、佐藤が3球目をレフト共に、左柵越えを放ち、豪快な幕開けとなった。本日は、派遣審判をしていない事から、攻撃側から出したが、その審判の目に若干の老いがあるものの、2本共、その目にも映らない位のアーチであった。先発政司は、4回5失点を喫したが、それ以上に打ちまくったチームが救い、今期2勝目を挙げた。2番手林も好投で、今日も一つの牽制死を記録し、マウンドに林有りの感を見せた。その中で・・・

走塁に雑さを感じた。盗塁は足の速さだけでは無い。いかにモーションを盗み、素早いスタートが切れるか、投手が走者を気にしていないタイミングを如何に感じるかであると思う。果敢に走塁する事と、無謀に走る事とは、意味合いが大きく異なり、ましてや、接戦でのランナーを失ったベンチは下向きになるだろう。場面を考え、走塁をする。次打者と、塁に出た時にタイミングを打ち合わせる事も大事なことだろう。また、2アウト、2-3は自動的にベースランナーはGO！打球の方向を見ることなく、一気にホームを目指そう。そんな基本が出来ているチームは恐らく相手チームの目にも、心理的に上に立たれたと思うであろう。さあ次節は、KSC予選最終節、勝利をゲットし、上位トーナメントに進出しよう！

問題です。右下にはもう一人安打を放った人が入る予定でしたが、写真が有りません。何故でしょう！金金